

中国の国語教科書と児童文学

浅野法子 (大阪成蹊短期大学)

はじめに

中華人民共和国 (以下、「中国」とする) では、1980 年代なかばごろから、それまでの「応試教育」とする知識詰め込み教育から、子どもの個性や主体性を尊重する「素質教育」へと転換した経緯がある。それに伴い、教科ごとにその目的や内容、方法が提示された「教学大綱」が、2001 年に「課程標準」へと改定されている。また、教科書については国定から検定制への変更を経て、2019 年 9 月以降から教科書の一部は検定制から国定制へと改訂された。今回の国定教科書への改訂版は、人民教育出版社にて 2014 年ごろから作成が始められたとされている。文化大革命の終結以降、中国ではこのような大規模な教育改革が行われてきた。

人民教育出版社は 1950 年 12 月成立し、初代社長は教育者兼作家である葉聖陶が務めた。日本の文部科学省にあたる教育部の傘下の出版社であり、教科書出版に携わるだけでなく、研究機関としての機能も有している。今回の国定版は教育部が編集したものとする「部编版」と称され、日本の国語科に相当する「語文」教科書の編集長は山東大学教授である温儒敏、北京大学国語教育研究所所長、陳先雲 (出版社編集者)、北京大学教授であり児童文学作家である曹文軒が担当している。

本プロジェクトでは、2020 年から 3 年間にわたり東アジアの国語教科書を対象にテーマごとに検証し、日本児童文学学会研究大会ラウンドテーブルにて発表をした。2020 年は中国「語文」教科書における児童文学、2021 年は翻訳児童文学、2022 年は伝統的な言語文化に関する教材についての報告を以下にまとめたい。

I 背景

I-1

中国には日本の指導要領にあたる課程標準があり、国語にあたる「語文」の課程標準には、現在「識字と書写」「読むこと」「書くこと」「話すこと」「総合的学習」の 5 項目がある。そのひとつ「読むこと」では、「多読多写」が重視され、読書に力を入れており、課程標準巻末にも副読本リストが付された。本を読む際には、「少做题、多读书、好读书、读好书、读整本的书」練習問題は少なめに、たくさんの本を読む、よく読む、良い本を読む、一冊の本をすべて読む：ダイジェスト版でなく」と推奨している。

課程標準は 10 年に一度に改訂されている。本プロジェクトの調査期間中に改訂があったが、例えば、以下は 2011 年版語文課程標準の総目標である。

- ① 愛国主義の感情、社会主義、道徳品性を育む
- ② 中華文化、民族文化を学ぶ
- ③ 祖国の言語文字を愛する心を育てる
- ④ 言語能力と思维能力の向上、想像力と創造力の潜在能力を引き出す
- ⑤ 主体的に探究する学習態度を身に着ける

- ⑥ ピンインを身に着け、標準語を話す。常用漢字の読み書き
- ⑦ 閲読能力、多読 9 年間の授業外閲読総量は 400 万字以上
- ⑧ 具体的で明確、流暢で適切な言葉遣いで自己表現ができる
- ⑨ 日常の会話コミュニケーションの基礎能力を備え、社交を学び、協調性を養う
- ⑩ 常用する補助書物が使える。情報リテラシーを身につける
⇒中国独自の文化や歴史を継承しながら、社会主義的な価値体系を構築する (注 1)

上述のように、語文学習では愛国主義や社会主義を尊重し、自国の文化を学ぶ姿勢を養うことを重視しながら、情報リテラシーやコミュニケーション力を身につけることを目的としている。また、中華人民共和国教育部制定「義務教育語文課程標準(2022)」三 課程目標 (二) 総目標では、次のように記されている。

- ①愛国主義、社会主義の感情、道徳品性を育み、世界観、人生観、価値観を形成する
- ②祖国の言語文字を愛する心を育て、言語や作品の価値を感じることで中華文化の偉大さを知り、社会主義的な先進文化や革命文化、中国の素晴らしい伝統文化を誇りに思う
- ③ 社会や生活に関心を持ち、学校や地域等の文化活動に積極的に参加し、交流や協同、探求等の実践力を高め、社会における意識を強める。
- ④ 常用漢字やピンインを学び、標準語を話すことができる。言語教材や言語経験を整理しながら語感を養い、ことばや文字の運用力を高める。
- ⑤さまざまな読書方法を身につけ、自ら読書力をつけることができる。本や新聞、雑誌、簡単な文学作品が読めるほか、辞書を使って文語文がわかる。聞くことや表現することを学び、会話で人とコミュニケーションをとり、社交を学ぶ。
- ⑥ 生活を観察し、想像力を高めることで潜在的な創造力を刺激し、豊かな言語経験で言語感覚を養い、言語表現力や創造力を高め、思考力を高める。
- ⑦ 探索や思考活動を楽しみ、比較、分析、概括、推理等といった思考方法を理解し、独自の観点をもって知識を求める態度を養う。
- ⑧言葉の文字の美しさや作品の思想性や芸術価値を感じ、自らの経験と結びつけながら理解し、鑑賞することで、自己の精神世界を豊かにする。
- ⑨自己の見聞や感想をさまざまな媒体で表現でき、美を見出すことを学び、美を表現したり創作したりすることで、健康的で審美的な情緒を育む。(注 2)

2011 年版からの変更点は、10 項目から 9 項目となり 1 項目減っているものの、内容的には大きな変動はなく、項目それぞれが洗練された印象をもつ。2011 年版に記載された 3500 字ほどの漢字を学ぶ。優秀な詩 240 編暗誦。9 年間授業外読書量は 400 万字以上、といった具体的な数値は別項目に書かれているものの、総目標では省かれている。

国定教科書の変更のポイントは、①伝統文化に関する内容の増加、②「多読多写 (たくさん読み、たくさん書く)」、③識字 (漢字) 教育: 400 文字から 300 文字へ減少、④「口語交際 (話す)」欄の充実といった 4 点が挙げられている (注 3)。これらの事例を意識しながら、以下に部編版の特徴をみていきたい。

I-2 現行教科書の構成

部編版の語文教科書は、日本の文部科学省にあたる教育部の傘下の出版社であり、教材研究期間でもある人民教育出版社によって作成されている。編集長である温儒敏（山東大学教授、北京大学国語教育研究所所長）のほか、陳先雲（出版社編集者）、曹文軒（児童文学作家、北京大学教授）等が小学校版の主な編者となっている。教材は物語、散文、詩歌、説明文と多岐にわたり、国内外の作品、古典から現代作品までと、目配りが行き届いている。収録作品が多く、教材の量が多い。言語能力の習得と、国民として共有すべき知識の獲得を学習目標とされている。

部編版語文教科書はそれぞれの学年に上下巻があり、合計 12 冊ある。その表紙すべてには、子どもたちが中国の伝統文化に触れ、たのしむ姿が描かれた。例えば、三年生上には泥人形を製作、四年生下には旧正月の飾りつけの様子が描かれている。また、三年下ではおばあさんとちまきを作り、四年上には、おじいさんに京劇の孫悟空の面を描いてもらっており、年長者に伝統文化を学ぶ子どもたちの姿が描かれた。二年上には影絵であそぶ子どもたちが描かれている。

収録内容としては、1、2 年生には、漢字学習とテキスト（物語や詩、童謡）に分けられている。天地人、口耳目といった漢字の学習からスタートし、童謡や詩で言葉の「音（発音記号や読み方）」を学び、言葉を覚える教材が用意されている。台湾の詩人による詩や、イソップも収録されている。全学年のすべての教科書において、国内外のさまざまなジャンルの作品が収録されている。例えば 1 年生(上)には目次には上がらない作品であるが、「おとなと読みましょう」「楽しい読み物」等の欄にも、日本で定番の教材である「おおきなかぶ」のほか、数多くの読物が収録されている。

3 年生以降の教科書は単元ごとにテーマ設定となっている。例えば 3 年生上では、第一単元は学校、第二単元は秋、第三単元は童話を読む、となっている。この第三単元に新美南吉の「去年の木」が収録されていたが、現在は別の教材に代わっている。第四単元は「予測しながらよむ」、第五単元は「観察し、書き留める」といった技能に関すること、第六単元は祖国、第七単元は大自然の恵み、第八単元は希望と力となっている。3 年上には、漢詩や、童話、社会主義的思想道徳の涵養を目的とする教材も収録されている。

II 中国「語文」教科書における児童文学

採用数の多い作家をみると、葉聖陶がトップで 5 編、続けて老舎の 4 編、そして、3 編収録の冰心、金波、巴金、張秋生と続く。全て国内の作家であり、掲載数が多い作家は詩も散文も執筆する場合が多い。例外としては、風物詩や動物を描写した老舎の「猫」（四年下）、「めんどり（母鶏）」（四年下）、「草原」（六年上）、「北京の旧正月（北京的春節）」（六年下）がある。

民国期以降から作品を発表する葉聖陶の作品には、「小さな船（小小的船）」（一年上）、「ハスの花（荷花）」（三年下）、「ツタの足（爬山虎的脚）」（四年上）、「金華の双龍洞（記金華的双龍洞）」（四年下）、「たなばた（牛郎織女）」（五年上）といった、詩や伝承文学、景勝地の紀行文がある。張秋生の作品には、「アオガエルの詩（青蛙写詩）」（一年上）、「ママが眠った（媽媽睡了）」（二年上）、「金色の手のひらにおおわれた泥道（鋪滿金色巴掌的水泥道）」（三年上）がある。張秋生の作品は情景をイメージしやすく、身近なテーマが用いられていることが特徴的である。

現代の児童文学作家の作品に、張之路「ウシのおなかのたび（在牛肚子里旅行）」（三年上）、秦文君「さんぱつ名人（剃頭大師）」（三年下）、曹文軒「わらぐつ（芦花鞋）」（四年下）がある。「わらぐつ（芦

花鞋)」は、『青銅とひまわり (青銅葵花)』からの抜粋である。これは「成長の物語」がテーマとなる単元に収録されている。長編読解が学習目的とされているものの、原作の設定である青銅が幼少期に口がきけなくなったことや、ひまわりが青銅の家に引き取られるまでの経緯は記されていない。

部编版は單元ごとのテーマ読書がかなり意識されている。例えば、四年下収録の張天翼「宝のひょうたん (宝葫蘆的秘密)」、オスカー・ワイルド「わがままな大男」とアンデルセン「人魚姫」が収録され、童話の登場人物に着目した人物像の考察が学習目的とされている。「宝のひょうたん (宝葫蘆的秘密)」では「ワンパオはなぜ宝のひょうたんを手に入れたいのか」、といった設問をとおして、宝のひょうたんに頼るワンパオの少年像について考える。「わがままな大男」では、大男が改心することで、庭には春が到来する。「人魚姫」では、自らの命を犠牲にして王子への愛を貫く。「わがままな大男」と「人魚姫」にはキリスト教色が根底にみられるが、「宝のひょうたん」を含めこれら三作の主人公には善行を読み取ることができる。いずれにしても長編の一部が収録となるが、教科書は原作へ導く橋渡しにもなっている。

現行の語文教科書には、国内外のさまざまなジャンルの作品が収録されている。海外作品としてはアンデルセン、トルストイ、イソップの作品が二編ずつ収録されるほかにも、世界各国・地域の作品も含まれた。以下に翻訳作品の内訳をみていきたい。

III 翻訳児童文学

アメリカ	6
ロシア	6
ソ連	4
フランス	4
イギリス	3
ドイツ	3
日本	3
イタリア	2
オランダ	2
デンマーク (アンデルセン)	2
イソップ寓話	2
ギリシア神話	1
スウェーデン	1
インド	1
チェコ	1
ハンガリー民話	1
レバノン	1
北朝鮮	1
	44

目次掲載作品総数 323 のうち、海外作品は 44 タイトルある。内訳としてはアメリカ 6 作、ソ連 4 作、ロシア 6 作とロシア・ソ連の作品が多い。

ロシアの作品は帝政ロシア時代のもものがほとんどで、全学年 1 作品ずつ掲載。「かたつむり」(1 年上) や「きりはどこ」(2 年上) といった自然界を描写した作品はじめ、クルィロフの寓話「池と河」(3 年下) と、ツルゲーネフの「スズメ」(4 年上) が収録されている。前者は池と河をたとえにして、才能も使わなければ池のように枯れ果てる。後者はスズメのような小さい鳥でも、仲間を助ける勇敢さを讃えたもの。レフ・トルストイ「とびこめ」(5 年下) と「貧しい人々」(6 年上)。前者では息子の危機を父親が瞬時に機転を利かせて助けた親の子どもへの愛を、後者では貧しいなかでも孤児を受け入れる他者への愛が描かれたもの。この 2 作は、北京師範大学 2003 年版にも収録されており、定番の教材といえる。

「ソ連」の作品として収録されたものに、一面にたんぽぽが咲いた「金色の草地」、レーニンが散歩中に毎日見かけていたスズメがいなくなっても、誠実に対処する子どもを描いた「灰色のスズメ」。子どもが空を飛ぶ夢をみる「子ども時代の発見」等、愛、誠実さを讃える作品だけでなく、自然描写や空想的な物語も収録された。

アメリカの作品はすべて高学年の教科書に収録されている。説明文ロバート E ウェルズの「チーターよりはやくはしるのはだれ」(5 年上)、バッド・シュールバーグの「「素晴らしい」と「ひどい」」(5 年下)。世界各地の説明文「ベニスのゴンドラ」(5 年下)、「ベルリンにて」(6 年)、文学的文章としては、冒険ものとしてマーク・トウェイン「トム・ソーヤの冒険」(6 年下) と SF 小説としてアシモフ「昔はおもしろかったらうな」(6 年下) が収録された。

6 年下第二単元は「外国文学名著を通して広い世界を知る」というテーマの下、「ロビンソン・クルーソー」(1719)、「ニルスのふしぎな旅」(1906)、「トム・ソーヤの冒険」といったすべてが欧米諸国のキリスト教文化圏の作品であり、冒険ものである。「ロビンソン・クルーソー」(1719) では無人島暮らしの長所短所を挙げた部分を収録し、「ニルスのふしぎな旅」(1906) では、

「トム・ソーヤの冒険」(1876) ではトムが洞窟を探検する部分が収録された。同単元では 3 作ともまずは原作の概要があり、本文は一部の抄録となっている。どれも物語の黙読を目指し、印象に残るシーンや登場人物について伝えることや、作品の概要をまとめる学習が組まれている。こうした外国文学の単元に入る前にも、全学年すべての教科書において、外国作家による文章が収録された。

中国では民国期以降、海外の子どもの読み物としてアンデルセン童話がよく読まれている。調査の対象とした教科書にも「五粒のえんどうまめ」(4 年上)、「人魚姫」(4 年下) が収録された。前者は病の女の子を思う五粒目のえんどうまめの愛の尊さ、後者は王子への愛を貫く善良さを読み取ることが求められている。また、ワイルドも民国期以降良く読まれる作家のひとりである。「巨人の花園」は「人魚姫」と同じ 4 年下第八単元童話の単元に掲載されている。童話というジャンルの作品を鑑賞し、善良な人物のイメージを読み込むことが目的とされている。

そのほか、イソップ寓話、フェアブル昆虫記。外国作品からは地理、自然の知識のほか、海外文化等のおさえておきたい教養のほか、ロシア・ソ連の作品にみる愛、正義、勇敢、友誼といったテーマの作品が多い傾向がみられる。

日本の作品は三編あり、金子みすゞ「次からつぎへ (一个接一个)」(一年下)、新美南吉「去年の木 (去年的樹)」(三年)、清少納言「枕草子 (四季之美)」(五年上) が採用された。金子みすゞと新美南吉は、中国でも既に認知度の高い作家であるが、「去年の木 (去年的樹)」に関しては、2021 年以降は掲載され

ていない。「枕草子」には、四季それぞれの美しさを感じる、本文を暗唱する、美しい景色の描写を参考にし、印象深い景色を文章表現する、といった課題が設定されている。現代中国語で訳されていることもあり、詳細の説明もないことから、日本の古典作品であることは読み取れない。

金子みすゞ「次からつぎへ」は、次々と起きる出来事に「わたし」の移り変わる気持ちを繋ぐ詩である。月夜にかけふみをして遊んでいると、親に帰るように言われる。夢をみているときに起きるのは嫌だが、学校へ行くのが楽しい。こうした子どもの心情は、国籍を問わずどの国や地域の子どもたちにも共感しやすいのではないだろうか。設問に「「わたし」と同じような経験をしたことがありますか？ 同級生に話してみましよう」とあり、自分の経験を語ることを目的とされた。

IV 「伝統的な言語文化」に関する教材

部编版への改訂に重視されたものに、伝統文化に関する教材がある。課程標準 (2022) の四「課程内容」(テーマとジャンル) には次のような記載がある。

1. 中国の優秀な伝統文化

漢字、書道、成語、格言、神話や伝説、寓話、歴史小説、昔話、中華民族が団結する物語、漢詩、古代散文、古代小説、古代文化に関する常識、伝統行事、風俗習慣等

2. 革命文化

革命英雄の代表的な作品や彼らの伝記、物語、共産党リーダーの人民革命の偉大な功績や重要な事件、革命伝統に関する人物、聖地、文物等を記した作品。

3. 社会主義先進文化

社会主義を実現する上での重要な事柄や、模範的人物、先人の事績、中国の豊かになり、強国となるまでの奮闘過程や重大事件、および、中国の近代化の過程や人類文明の新しい形を体現した作品——調和、裕福、改革、労働を描いた作品 (注 4)

これら上記の中国の伝統文化、革命文化、社会主義先進文化の教材を 60 から 70%とし、科学技術や自然、生活を反映した、説明文、ノンフィクション、外国の優秀な作品を 30-40%と定めた。(注 5)

教科書掲載作でいえば、漢詩 (唐詩 28 首、宋詩 22 首)、故事成語や神話、古典作品、民間故事のほか、伝統文化の紹介文、各地、四季折々の風景の描写、偉人の伝記がある。このほかにも、革命文化、社会主義先進文化が中国の伝統文化と併記されていることが、中国の語文教科書の特徴として挙げられる。

伝統文化の教材には伝統行事の紹介や人物伝としてのテキストがある。偉人伝としては四年上の漢方薬に貢献した「扁鵲治病 (へんじゃく病を治す)」と「紀昌学射 (紀昌、弓を学ぶ)」、二年上「曹冲称象 (象を船に乗せて重さをはかる曹冲)」、三年上「司馬光 (司馬光石で水がめにはまった子どもを助ける)」がある。

昔話には「牽牛織女」「漏」が収録された。古典作品には、「西遊記 (冒頭の孫悟空が石から生まれる花果山)」や「水滸伝」、「三国演義 (赤壁の戦いの藁束を並べた船で矢を借りる)」や「周郎」、「諸葛孔明」、「紅樓夢」がある。四年上には神話が収録されており、天地創世の神とされる「盤古開天地 (盤古天地開闢)」や、人類の始祖とされる「女媧补天 (女媧)」の物語が含まれた。

おわりに

西川真子 (2015) は、部編版となる以前の人民教育版語文教科書を検証し、次のように述べている。

国民が共有し継承すべき古典文学作品等伝統的な教材の他に、首都北京をはじめ国内の特色ある地域を主題とする紀行文、社会主義的思想道徳の涵養を目的とする教材、中国の現政権の樹立に対して功績のあった国家指導者の紹介文、各国で親しまれている外国文学の作品や文化的事象を紹介する文章、外交上中国と関わりの深い国家地域を理解するための読み物、人間の生活に深くかかわる科学知識の啓蒙教材等が含まれる。(注 6)

つまり、古典文学をはじめとする伝統的な教材、北京などの首都や国内の景勝地を描く紀行文、国家指導者の偉人伝、海外の著作といった内容が収録された。この傾向は、現行の部編版へと引き継がれており、実際に長く採用され続ける教材も少なくない。基本的なスタイルに大きな変更はないものの、本プロジェクト期間にも多少の教材の入れ替えがあったことをみれば、検証していることがみてとれる。

教科書をめぐる背景として、2021 年 7 月 1 日、習近平総書記の中国共産党 100 周年重要講話にて、教材づくりの国家事業に関する言及があった。また、国家教材委員会より 7 月 21 日付で通知された「《习近平新时代中国特色社会主义思想进课程教材指南》」にて、学校教育のガイドラインや教科書を取り上げ、社会の広範囲における思想学習の被覆性や浸透性の強化を提示された。その一環として、語文教科書には上述の伝統的文化に関する教材が重視されている。また、その影響は例えば教科書掲載作にみる国内外の作品の内訳にもみられるのである。

テキスト

『義務教育教科書 語文』人民教育出版社
一年上下冊 教育部 2016 年審査
二年上下冊 教育部 2017 年審査
三年上下冊、四年上册 教育部 2018 年審査
四年下冊、五年上下冊、六年上下冊 教育部 2019 年審査

注

1. <https://www.pep.com.cn/> (2021.11.20 検索) 2023 年 2 月 13 日時点でメンテナンス中
2. 前掲注 1
3. https://www.sohu.com/a/153590582_372507 (2021.11.20 検索)
4. 前掲注 1
5. 前掲注 1
6. 西川真子「中国の小学校国語教科書が描く自然・人間・社会——人民教育出版社『義務教育課程標準 実験教科書 語文』四年級下冊を中心に——」名古屋外国語大学外国語学部紀要第 49 号、2015 年

【資料3】中国の国語教科書に載った児童文学作品

浅野法子作成

学年	作品名	作品名(日本語)	作者	作者(日本語)	
1 上	小小的船		叶圣陶		詩
1 年上	四季		薛卫民		詩
1 年上	影子		林焕彰		台湾
1 年上	比尾巴		程宏明		
1 年上	青蛙写诗		张秋生		
1 年上	雨点儿		金波		
1 年上	明天要远足		壮族民歌		
1 年上	大还是小		龚艺兵		
1 年上	项链		夏辇生		
1 年上	雪地里的小画家		程宏明		
1 年上	乌鸦喝水	カラスと水がめ	伊索寓言	イソップ	イソップ
1 年上	小蜗牛	かたつむり	巴乌姆美莉		ロシア
1 年下	我多想去看看		王宝柱		
1 年下	一个接一个	次から次へ	金子美铃	金子みすず	日本
1 年下	四个太阳		夏辇生		
1 年下	小公鸡和小鸭子		人民教育出版社		
1 年下	树和喜鹊		金波		
1 年下	怎么都快乐		任溶溶		
1 年下	夜色		柯岩		
1 年下	端午粽		屠再华		
1 年下	彩虹		韦其麟		
1 年下	荷叶圆圆		胡木仁		
1 年下	要下雨了		罗亚		
1 年下	文具的家		圣野		
1 年下	一分钟		鲁兵		
1 年下	动物王国开大会		嵇鸿		
1 年下	小猴子下山		人民教育出版社		
2 年上	小蝌蚪找妈妈		方惠珍		
2 年上	我是什么				
2 年上	植物妈妈有办法	植物の母には方法がある	戴巴棣	デバディ	オランダ
2 年上	杨景歌		人民教育出版社		
2 年上	树之歌		人民教育出版社		
2 年上	拍手歌		人民教育出版社		
2 年上	田家四季歌		课文		
2 年上	玲玲的画		人民教育出版社		
2 年上	一封信	チャンドス卿の手紙	鲍圭埃特	フーゴ・フォン・ホーフマン スタール	ドイツ
2 年上	妈妈睡了		张秋生		
2 年上	黄山奇石		人民教育出版社		
2 年上	日月潭		吴壮达		
2 年上	葡萄沟		权宽浮		
2 年上	坐井观天		庄子 秋水		
2 年上	寒号鸟		中国民间故事		

2 年上	我要的是葫芦		刘仲元		
2 年上	大禹治水		史记		
2 年上	朱德的扁担		朱良才		
2 年上	难忘的泼水节		《永恒的纪念：周总理的文物》		
2 年上	雾在哪里	霧はどこ	谢尔古年科夫	ゼルゲイ・ゴズロフ	ロシア
2 年上	雪孩子		嵇鸿		
2 年上	狐假虎威		战国策		
2 年上	狐狸分奶酪	にひきのよくぱりこぐま	民间故事	民話	ハンガリー民話
2 年上	纸船和风筝		刘保法		
2 年上	风娃娃		常瑞		
2 年下	找春天		经绍珍		
2 年下	开满鲜花的小路		林颂英		
2 年下	千人糕		基本教科书国语		
2 年下	一匹出色的马		陈伯吹		
2 年下	神州谣		人民教育出版社		
2 年下	“贝”的故事		自编		
2 年下	彩色的梦		高洪波		
2 年下	枫树上的喜鹊		郭风		
2 年下	沙滩上的童话		金波		
2 年下	我是一只小虫子		张月		
2 年下	画杨桃		岑桑		
2 年下	小马过河		彭文席		
2 年下	雷雨		人民教育出版社		
2 年下	要是你在野外迷了路	外で迷子になったら	戴巴禄	デバディ	オランダ
2 年下	太空生活趣事多		盛叶		
2 年下	大象的耳朵		冰波		
2 年下	蜘蛛开店		鲁冰		
2 年下	青蛙卖泥塘		季颖		
2 年下	小毛虫	毛虫と蝶	达芬奇	レオナルドダヴィンチ	イタリア
2 年下	祖先的摇篮		吴城		
2 年下	当世界年纪还小的时候	世界がまだ若かったころ	于尔克·舒比格	ユルク・シュービガー	ドイツ
3 年上	大青树下的小学		吴然		
3 年上	花的学校	The Flower-School	泰戈尔	タゴール	インド
3 年上	铺满金色巴掌的水泥道		张秋生		
3 年上	秋天的雨		陶金鸿		
3 年上	听听·秋的声音		毕国瑛		
3 年上	去年的树	去年の木	新美南吉	新美南吉	日本
3 年上	那一定会很好		流火		
3 年上	在牛肚子里旅行		张之路		
3 年上	一块奶酪		辛勤		
3 年上	总也倒不了的老屋		慈琪		
3 年上	胡萝卜先生的长胡子		王一梅		
3 年上	不会叫的狗	吠え方を知らない犬	罗大里	ジャンニ・ロダーリ	イタリア
3 年上	搭船的鸟		郭风		
3 年上	金色的草地	金色の草地	普里什文	ミハイル・プリーシヴィン	ソ連
3 年上	富饶的西沙群岛		林遐		
3 年上	父亲·树林和鸟		牛汉		

3 年上	带刺的朋友		宗介华		
3 年上	掌声		董保纲		
3 年上	灰雀	灰色のスズメ(雀科)	阿列克谢耶夫	Aleksyev , Vasilii Mihaylovich	ソ連
3 年下	燕子		郑振铎		
3 年下	荷花		叶圣陶		
3 年下	昆虫备忘录		汪曾祺		
3 年下	陶罐和铁罐		黄瑞云		
3 年下	鹿角和鹿腿	母鹿と小鹿	伊索寓言	イソップ	イソップ
3 年下	池子与河流	池と河	克雷洛夫	イヴァン・クルイロフ	ロシア
3 年下	纸的发明		人民教育出版社		
3 年下	一幅名扬中外的画		滕明道		
3 年下	花钟		人民教育出版社		
3 年下	蜜蜂	ミツバチ	法布尔	ファーブル	フランス
3 年下	小虾		菁莪		
3 年下	宇宙的另一边		陈诗哥		
3 年下	我变成了一棵树		顾鹰		
3 年下	童年的水墨画		张继楼		
3 年下	剃头大师		秦文君		
3 年下	肥皂泡		冰心		
3 年下	我不能失信		孔永猛		
3 年下	我们奇妙的世界	不思議な世界	彼得 西摩	ピーター・セイモア	イギリス
3 年下	海底世界		石友		
3 年下	火烧云		萧红		
3 年下	慢性子裁缝和急性子顾客		周锐		
3 年下	方帽子店		施雁冰		
4 年上	观潮		赵宗成・朱明元		
4 年上	走月亮		吴然		
4 年上	现代诗二首		刘大白/徐志摩		
4 年上	繁星		巴金		
4 年上	一个豆荚里的五粒豆	五粒のえんどう豆	安徒生	アンデルセン	デンマーク
4 年上	蝙蝠和雷达		人民教育出版社		
4 年上	呼风唤雨的世纪		路甬祥		
4 年上	蝴蝶的家		燕志俊		
4 年上	爬山虎的脚		叶圣陶		
4 年上	风筝		贾平凹		
4 年上	麻雀	スズメ	屠格涅夫	ツルゲーネフ	ロシア
4 年上	牛和鸡		任大霖		
4 年上	一只窝囊的大老虎		叶至善		
4 年上	陀螺		高洪波		
4 年上	为中华之崛起而读书		余心言		
4 年上	梅兰芳蓄须		李大同		
4 年上	延安·我把你追寻		祁念曾		
4 年上	王戎不取道旁李		世说新语		
4 年下	乡下人家		陈醉云		
4 年下	天窗		茅盾		
4 年下	三月桃花水		刘湛秋		
4 年下	琥珀	Amber	柏吉尔	Bruno H. Burdel	ドイツ

4 年下	飞向蓝天的恐龙		徐星		
4 年下	纳米技术就在我们身边		刘忠范		
4 年下	千年梦圆在今朝		人民教育出版社		
4 年下	短诗三首		冰心		
4 年下	绿		艾青		
4 年下	白桦	白樺	叶赛宁	セルゲイ・アレクサンドロ ヴィッチ・エセーニン	ソ連
4 年下	在天晴了的时候		戴望舒		
4 年下	猫		老舍		
4 年下	母鸡		老舍		
4 年下	白鹅		丰子恺		
4 年下	海上日出		巴金		
4 年下	记金华的双龙洞		叶圣陶		
4 年下	小英雄雨来		管桦		
4 年下	我们家的男子汉		王安忆		
4 年下	芦花鞋		曹文轩		
4 年下	“诺曼底号” 遇难记	ノルマンディー号	维克多 雨果	ヴィクトル・ユゴー	フランス
4 年下	宝葫芦的秘密		张天翼		
4 年下	巨人的花园	巨人の花園	王尔德	ワイルド	イギリス
4 年下	海的女儿	人魚姫	安徒生	アンデルセン	デンマーク
5 年上	白鹭		郭沫若		
5 年上	落花生		许地山		
5 年上	桂花雨		琦君		
5 年上	珍珠鸟		冯骥才		
5 年上	塔石		刘章		
5 年上	什么比猎豹的速度更快	チーターよりはやくはしる のはだあれ?	罗伯特 E・威尔斯	ロバート E ウェルズ	アメリカ
5 年上	冀中的地道战		周而复		
5 年上	少年中国说		梁启超		
5 年上	圆明园的毁灭		王英琦		
5 年上	小岛		陆颖墨		
5 年上	太阳		张洁		
5 年上	松鼠	リス	布封	ビュフォン	フランス
5 年上	慈母情深		梁晓声		
5 年上	父爱之舟		吴冠中		
5 年上	“精彩极了”和“糟糕透了”	「素晴らしい」と「ひどい」	巴德 舒尔伯格	バッド・シュールバーグ	アメリカ
5 年上	鸟的天堂		巴金		
5 年上	月迹		贾平凹		
5 年上	故人谈读书				
5 年上	忆读书		冰心		
5 年上	我的“长生果”		叶文玲		
5 年下	祖父的园子		萧红		
5 年下	月是故乡明		季羨林		
5 年下	梅花魂		陈慧瑛		
5 年下	青山处处埋忠骨		晓年		
5 年下	军神		毕必成		
5 年下	清贫		方志敏		

5 年下	人物描写一组		徐光耀《小兵张嘎》·老舍《骆驼祥子》·吴敬梓《儒林外史》		
5 年下	刷子李		冯骥才		
5 年下	跳水	とびこめ	列夫 托尔斯泰	トルストイ	ロシア
5 年下	威尼斯的小艇	ベニスのゴンドラ	马克 吐温	マーク・トウェイン	アメリカ
5 年下	牧场之国	田園風景——真のオランダ	卡雷尔 恰佩克	カレル・チャペック	チェコ
5 年下	金字塔		穆青		
5 年下	手指		丰子恺		
5 年下	童年的发现	子ども時代の発見	费奥多罗夫	フェドロフ	ソ連
6 年上	草原		老舍		
6 年上	丁香结		宗璞		
6 年上	花之歌	花の歌	纪伯伦	ハリール・ジブラーン Gibran Kahlil Gibran	レバノン
6 年上	七律 长征		毛泽东		
6 年上	狼牙山五壮士		沈重		
6 年上	灯光		王愿坚		
6 年上	竹节人		范锡林		
6 年上	宇宙生命之谜		张中碣 赵晓梅		
6 年上	故宫博物院		黄传杨《故宫博物院》姜舜源《故宫史话》官方 HP		
6 年上	桥		谈歌		
6 年上	穷人	貧しい人	列夫 托尔斯泰	トルストイ	ロシア
6 年上	在柏林	In Berlin	奥莱尔	オライリー	アメリカ
6 年上	夏天里的成长		梁容若		
6 年上	盼		铁凝		
6 年上	古诗三首				
6 年上	只有一个地球		李剑波 蔡士魁		
6 年上	青山不老		梁衡		
6 年上	三黑和土地		苏金伞		
6 年上	文言文二则				
6 年上	月光曲		贝多芬《第十四号钢琴奏鸣曲》		
6 年上	京剧趣谈		徐城北		
6 年上	少年闰土		鲁迅《故乡》		
6 年上	好的故事		鲁迅		
6 年上	我的伯父鲁迅先生		周晔		
6 年上	有的人——纪念鲁迅有感		臧克家		
6 年下	北京的春节		老舍		
6 年下	腊八粥		沈从文		
6 年下	藏戏		马晨明		
6 年下	鲁滨逊漂流记	ロビンソン漂流記	丹尼尔 笛福	ダニエル・デフォー	イギリス
6 年下	骑鹅旅行记	ニルスのふしぎな旅	塞尔玛 拉格洛芙《骑鹅旅行记》	セルマ・ラーゲルレーヴ	スウェーデン
6 年下	汤姆·索亚历险记	トム・ソーヤの冒険	马克 吐温	マーク・トウェイン	アメリカ
6 年下	匆匆		朱自清		
6 年下	那个星期天		史铁生《务虚笔记》		

6 年下	十六年前的回忆		李星华		
6 年下	为人民服务		毛泽东		
6 年下	金色的草地的鱼钩		杨旭		
6 年下	真理诞生于一百个问号之后		叶永烈		
6 年下	表里的生物		冯至		
6 年下	他们那时候多有趣啊	昔の楽しみ	艾萨克 阿西莫夫	アイザック・アシモフ	アメリカ